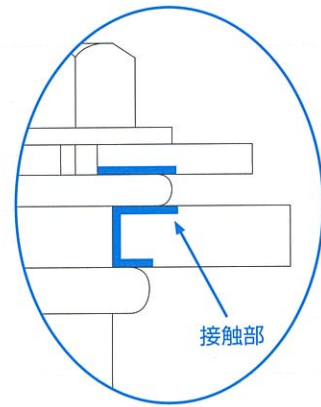
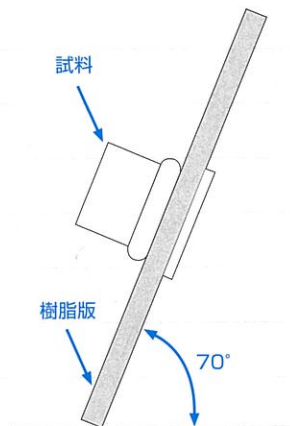


過酷な腐食環境下でポップナットを腐食から保護するため、高耐食表面処理を施す必要がある。ポップナットは締結時にボディーを座屈させることから、かしめ(曲げ)に追従する表面処理として合金メッキに薄膜の樹脂コートを被覆させることで高い耐食性を実現させている。

特に樹脂コートはポップナット単体の耐食性を向上させる以外にワーク材や取付物との接触部を絶縁する機能を持つ。したがって、異種金属が接触して発生する“電食”の進行を小さくすることも可能である。



### 耐食性比較



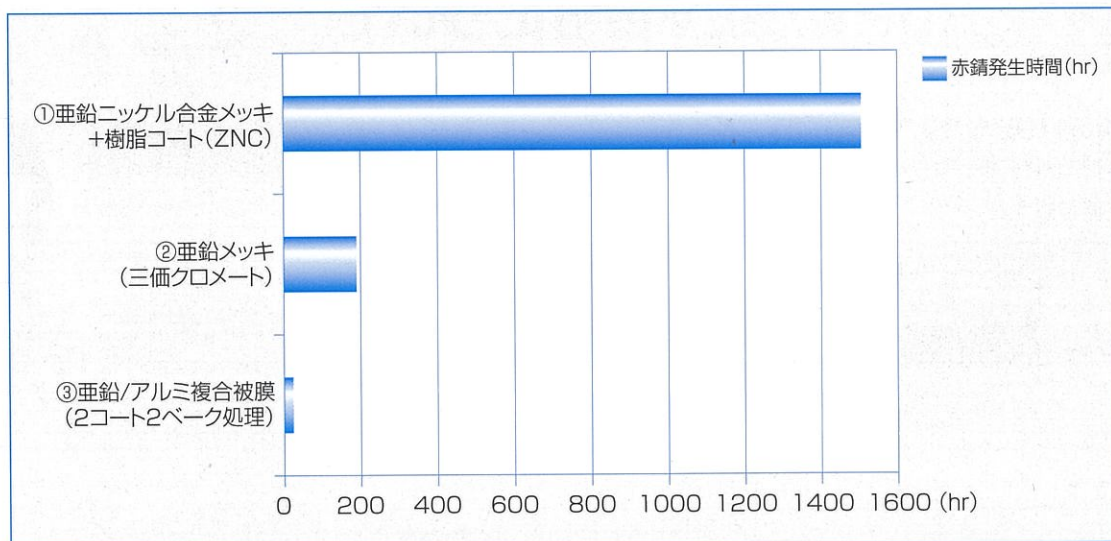
ポップナット:SPH625RLT

表面処理

- ①亜鉛ニッケル合金メッキ+樹脂コート(ZNC)
- ②亜鉛メッキ(三価クロメート)
- ③亜鉛/アルミ複合被膜(2コート2ベーク処理)

塩水噴霧試験条件

- ・JIS Z 2371に準ずる
- ・温度:35℃
- ・塩濃度:5%
- ・噴霧状態:ポップナットを樹脂板に締結し試験を行った。



亜鉛ニッケル合金メッキ+樹脂コートは非常に高い耐食性を有する。尚、亜鉛/アルミ複合被膜は、本来、高耐食の表面処理ではあるが、ポップナットに対しては、かしめ部の曲げに追従できず剥離が生じ、早期に赤サビが発生した。

亜鉛ニッケル合金メッキ+樹脂コートはポップナットでは多くの実績を持つ表面処理である。弊社では『ZNC』の呼称で、製品名の末尾に表示している。  
例)SPH625RLT-ZNC